公 式 記 録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和6年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会　決 勝 【 47 】

主審署名　足立　正輝

日 時	2024 年 11 月 10 日（日） 13 ： 05 キックオフ			会 場	ユニバー記念競技場		
天 候	晴れ	微風	天然芝・人工芝・クレー	状 態	良好	試合形式	80 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有
運営責任者	笠原　弘樹	会場主任	石塚　俊一	記 録	芝切　淳 ／ 後藤　大輔	観 衆	10,350 人
主 審	足立　正輝	副審1	山本　学史	副審2	中川　琢士	第4の審判員	落水　裕大

チーム名　滝川第二高校　0 (5)

									10	1	5	6	9	選手番号	PK戦		
									○	○	○	○	○	○× 先			

0	前半	0	
0	後半	0	
0	延前	0	
0	延後	0	
5	PK戦	3	

0 (3)　チーム名　AIE国際高校　kick off　延kick off

PK戦	選手番号	16	11	15	4												
	○×	○	○	×	○												

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名	(学年)	番号	位置	位置	番号	選手名	(学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					竹本　航	3年	1	GK	GK	23	釜田　統生	3年					分	
	分			1		川上　瑠巳	3年	6	DF	DF	5	村上　大虎	3年					分	
	分					樋渡　航	3年	4	DF	DF	3	上甲　朔也	3年		1			分	
	分					浜口　巧成	2年	16	DF	DF	24	佐々木　琉	2年					分	
	分					酒井　悠利	3年	5	DF	DF	22	河本　瑞樹	2年					94 分	
	分	1		1		三宅 蔵ノ助	3年	10	MF	MF	7	角山　壮大	3年					分	
	分					南　壮一郎	2年	20	MF	MF	16	杉浦　煌仁	3年		3		1	分	
	100 分					村松　風亜	3年	7	MF	MF	19	山崎　徹也	3年	2	1			67 分	
	74 分			1		治部　翔	3年	13	MF	MF	11	宮城　丸	2年					分	
	14 分					八木　寛人	3年	14	MF	MF	18	上村　斗羽	2年					61 分	
	分					空久保　善	2年	24	FW	FW	9	池内　颯海	3年	1	1			75 分	
	分					多田　義博	3年	21	GK	GK	1	奥原　崇陽	2年					分	
	分					友田　莉仁	3年	2	DF	DF	4	榎田　蓮	3年					分	22
14	分					加野　陽己	3年	3	DF	DF	6	青木 日向葵	2年					分	
	分					横田　圭佑	3年	8	MF	MF	2	水谷　建斗	2年					分	10
7	分					松元　大智	3年	11	MF	MF	8	本田　望晃	2年					分	
	分					田坂　彩人	2年	22	MF	MF	13	知名　禅太	2年					分	19
13	分					鬼追　元汰	3年	9	FW	MF	14	柳原　康祐	1年					分	
	分					坂田　淳哉	2年	23	FW	FW	10	河本　大雅	3年					延HT 分	18
	分					大橋　相太	2年	27	FW	FW	15	山内　大地	2年					分	9

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
11 分	退	16	浜口　巧成	阻(他)	4	1	0	3	0	シュート	3	6	0	1	10	33 分	警	24	佐々木　琉	ラフ
52 分	警	4	樋渡　航	反ス	13	0	0	6	7	ＧＫ	1	3	0	1	5	分				
77 分	警	10	三宅　蔵ノ助	ラフ	2	0	1	1	0	ＣＫ	1	3	1	3	8	分				
分					16	2	4	5	5	直接ＦＫ	5	5	0	0	10	分				
分					2	0	0	2	0	間接ＦＫ	1	0	0	0	1	分				
分					0	0	0	0	0	ＰＫ	0	0	0	0	0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所 属 【 神戸国際附／社 】　氏 名 【 石塚元気／鎌田祥平 】

心地よい秋晴れの中、13：05にキックされた決勝戦。滝川第二１－４－２－３－１、AIE国際１－４－２－３－１のシステムでキックオフ。開始からAIE国際は11宮城を中心に左サイドから積極的に仕掛ける。そして、その宮城のパスで抜け出したＡＩＥ国際９池内を、滝川第二16浜口が倒し、決定機を阻止したということで、退場となる。1人少なくなった滝川第二は、14八木に代えて、3加野を投入し、守備ラインを修正する。完全にリトリートするのではなく、我慢しながらも得点を果敢に狙う滝川第二に対して、数的有利となったAIE国際であったが、効果的な攻撃を仕掛けることができない。後半も、展開として動きはなく、後半終盤にかけて数で勝るAIE国際が押し込むが、互いに無得点のまま試合は延長戦に突入する。延長戦は、滝川第二は10三宅、7村松を中心に攻撃を展開する。AIE国際は、11宮城、16杉浦を中心にゴールに近づくも、滝川第二１竹本を中心に跳ね返し、0対0のまま終了し、ＰＫ戦となる。ＰＫ戦の先行は滝川第二。3人目のキッカーまで成功した滝川第二に対し、AIE国際の3人目のキッカーである15山内のシュートを、滝川第二１竹本がストップ。その後、滝川第二5人目のキッカーである10三宅が冷静に決め、滝川第二が勝利し、3年ぶりの全国大会出場を勝ち取った。AIE国際の多彩なセットプレーは、大いに観客を沸かせた。そして、1人少なくなっても攻撃する意識を持ち、3人で前線からのプレスやプレスバック、その後のスプリントと、全員がハードワークを最後まで徹底した、滝川第二の勝利への執念に心打たれた試合であった。兵庫県の代表として全国での活躍を期待する。

［備 考］